

# 【報告事項】

## 2022年事業報告（第15期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

## 2022年 事業報告書 (第15期)

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

## 特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

## 1 事業の成果

2022年は、第33回高専プロコン群馬大会（対面開催）への共催、ならびに本協会が主催する第14回国際プロコンへの海外チームの招聘（オンライン参加）を行い、また、協賛企業さまより複数の講師を招き、全国の高専生向けにシンポジウムを実施するなど産学連携活動で大きな成果を挙げました。

さらに、高専プロコン本選の様子をライブ配信およびプロコンコミック「GO!GO! プロコンガール」を制作し公式サイトで公開するなど、活躍する高専生の様子を広報することができました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
高専プロコン 運営事業	第33回全国高専プロコンの 運営（予選）	6月25日	群馬県 前橋市・ オンライン	40名	予選応募学生・ 指導教員なら びに審査委員 約630人	20,619
	第33回全国高専プロコンの 運営（本選）	10月15日 ～ 10月16日	群馬県 高崎市	50名	本選出場学生・ 引率教員及び 産業界からの 参加者、一般市 民約800名	
国際コンテス ト運営事業	第14回国際プロコン開催	10月15日 ～ 10月16日	群馬県 高崎市・ オンライン	5名	国外からの 参加学生・教員 約30名	655
産学連携事業	高専プロコン連携シンポジウ ム	5月13日、 19日	全国（オン ライン）	10名	教職員・学生な ど約500名	0
広報事業	競技部門 BGM の制作および サウンドトラック CD の販売					18
	プロコンコミックの制作					831
合 計						22,123

## 2022年事業報告（第15期総括）

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の影響でオンライン開催となった2年間を経て、2022年は第15期を迎え、3年ぶりに高専プロコンを対面で開催し、人数の制限や交流企画を縮小したものの概ね盛況に大会が実施されたものと思います。併催された第14回国際大会については、海外チームはオンライン参加となったものの、ベトナム、モンゴル、シンガポール、香港、タイの5か国から過去最多の9チームが参加しました。

### 主な事業活動

#### 【高専プロコン運営事業】

- 2022年6月25日（土）予選審査会 群馬高専（群馬県前橋市）・オンライン
- 2022年10月15日（土）～16日（日）本選 Gメッセ群馬（群馬県高崎市）

	第32回(2021年) 秋田大会 <sup>1</sup>		第33回(2022年) 群馬大会 <sup>2</sup>	
	チーム数	参加校数	チーム数	参加校数
本選参加者数	494		794	
参加学生（含海外）	278		308	
参加学生（選手以外）	---		---	
引率教員（含海外）	77		67	
大会役員、高専関係者	3		31	
後援団体	3		21	
協賛企業	---		99	
審査委員	29		30	
プロコン委員	49		41	
報道関係者	---		3	
小計	439		600	
一般来場者	---		18	
主管校教職員	55		117	
主管校学生	---		59	
応募数	148	59	140	61
課題部門	43	34	43	33
自由部門	54	39	48	37
競技部門	51		49	

- ・ YouTube Live の視聴者数は、下記のとおり（11月1日時点）
  - 開会式 1,082、特別講演 485、閉会式 1522
  - 課題部門プレゼン 2,078、自由部門プレゼン 2,224 課題・自由デモ 1,753
  - 競技部門 大会1日目 2,844、大会2日目 2,185
- ・ バーチャルイベントシステムの来場者数は、本選終了時時点で80名（のべ215回）

<sup>1</sup> 課題、自由、競技3部門のオンライン開催

<sup>2</sup> 課題、自由、競技3部門の対面開催（海外チームはオンライン参加）

第33回(2022年)群馬大会受賞校

部門	主な受賞	高専名
課題部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	函館高専
	優秀賞	香川高専(詫間)
	特別賞	鳥羽商船高専
	特別賞	津山高専
	特別賞	福井高専
	特別賞	豊田高専
自由部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	東京高専
	優秀賞	豊田高専
	特別賞	東京高専
	特別賞	都城高専
	特別賞	弓削商船高専
	特別賞	小山高専
競技部門	優勝	大阪公大高専
	準優勝	弓削商船高専
	第三位	松江高専
	特別賞	豊田高専
	特別賞	旭川高専
	特別賞	久留米高専

【国際プロコン運営事業】

I. 第14回国際プログラミングコンテスト

➤ 2022年10月15日（土）～16日（日）本選 オンライン開催（運営本部：Gメッセ群馬）

- ・課題部門：ハノイ国家大学(ベトナム)
- ・課題部門：タイ高専(KOSEN-KMITL/タイ)
- ・課題部門：モンゴル教育大学(モンゴル) ※参加申し込み取り消し
- ・自由部門：シンガポール・ポリテクニク(シンガポール)
- ・自由部門：香港 VTC(香港)
- ・自由部門：キングモンクット工科大学ラカバン校(タイ)
- ・自由部門：タイ高専(KOSEN-KMITL/タイ)
- ・自由部門：モンゴル科学技術大学(モンゴル) ※本選時に出場辞退
- ・自由部門：国立聯合大学(台湾) ※参加申し込み取り消し
- ・競技部門：ハノイ国家大学(ベトナム)
- ・競技部門：タイ高専(KOSEN-KMITL/タイ)
- ・競技部門：モンゴル国立大学(モンゴル)

部 門	主な受賞	学校名
Themed section	Grand Prize	函館高専
	Second Prize	香川高専(詫間)
	Special Prize	ハノイ国家大学
	Special Prize	タイ高専
Original section	Grand Prize	東京高専
	Second Prize	豊田高専
	Special Prize	シンガポール ポリテクニク
	Special Prize	香港 VTC
	Special Prize	キングモンクット工科 大学ラカバン校
	Special Prize	タイ高専
Competition section	Champion	大阪公大高専
	Champion	弓削商船高専
	Special Prize	ハノイ国家大学
	Special Prize	タイ高専
	Special Prize	モンゴル国立大学

## 【産学連携事業】

### ▶ 高専プロコン連携シンポジウム 2022

日 時：2022年5月13日(金), 19日(木)

会 場：オンライン (YouTube Live により全国の高専学生にライブ配信)

講演タイトル・講演者

(1) 「サイバー攻撃者の最新動向と対策」

株式会社インテリジェントウェイブ 第三システム開発本部 セキュリティ開発部 第一課  
曾根 一朗 氏

(2) 「高専での学びが、活かされる今」

ネクストウェア株式会社 大阪営業本部 大阪技術部 小林 あゆみ 氏

(3) 「働くこと。解くこと。 ～システム開発の現場から学ぶ、プロコンの戦い方～」

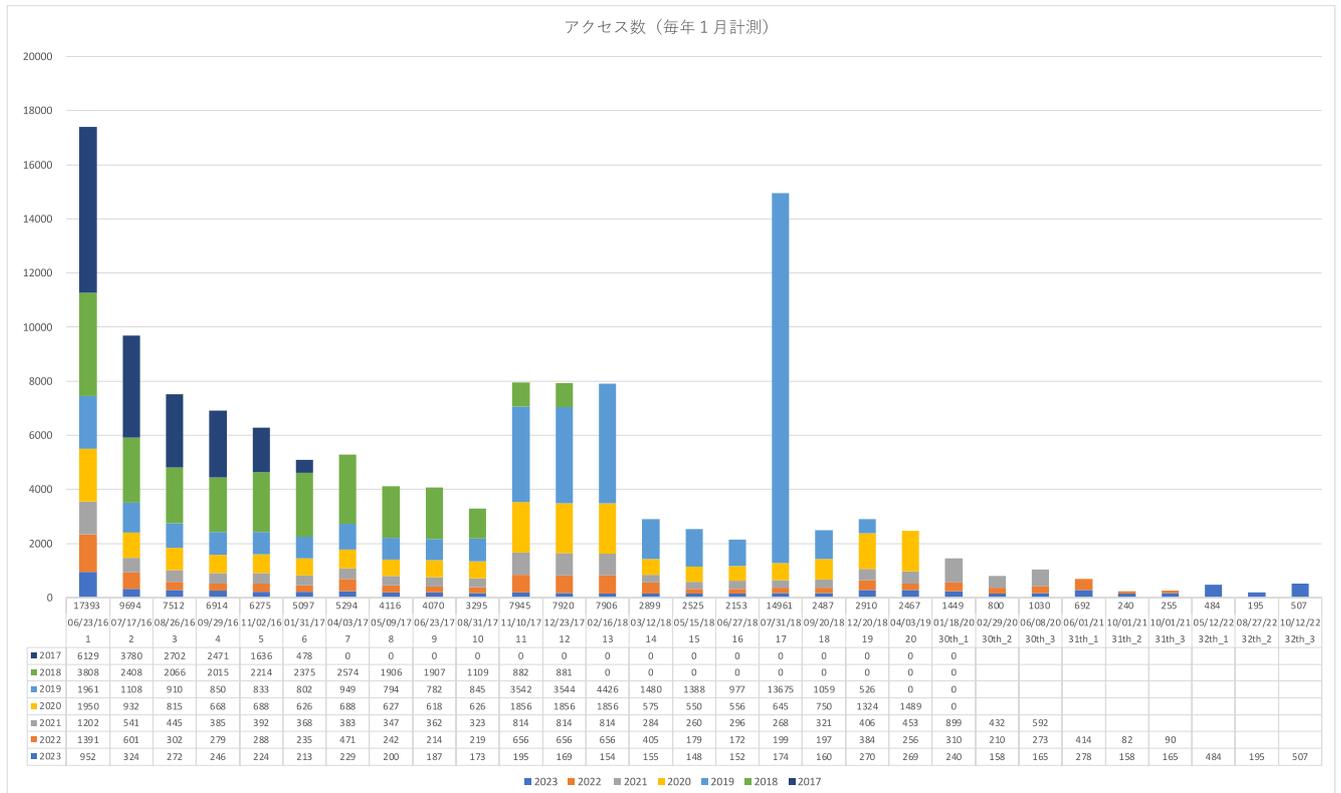
株式会社トヨタシステムズ 販売事業 IT 本部カスタマーサービスシステム部 部長 鱸 孝之氏  
視聴者：499名 (教職員・学生等)

## 【広報活動事業】

1. 高専プロコン公式サイト、NAPROCK 公式サイト、Facebook、Twitter 等の運営  
シンポジウム、プロコン本選など事業関連の情報を SNS 等通じて公開しました。

2. プロコンコミック

第 32 回大会特別レポート (3 回) を作成・公開しました。



### 3. メディアスポンサーの対応

メディアスポンサーとして1社 CQ 出版(株)に協力いただきました。また、ヤフー株式会社はライブ配信、株式会社 FIXER にはバーチャルイベントの運営協力をそれぞれいただきました。

## プロコン群馬大会(2022年)報道関係リスト

- 2022年10月16日 上毛新聞  
プログラムで上毛かるた対決全国高専生コンテスト
- 2022年10月25日道新ニュース [Web サイト]  
函館高専、プロコン最優秀賞 32年ぶりの快挙 リモート対戦の陣取りゲームで  
<https://www.youtube.com/watch?v=53m5Rv0C0w>
- 2022年10月27日 IT ジュニア育成交流協会 [Web サイト]大会初の優勝決定戦を大阪公大が制す、高専プロコンが3年ぶりにリアル開催——作品部門では函館高専と東京高専が最優秀賞  
<https://www.ajitep.org/news/3-1.html>
- 2022年10月26日 北海道新聞  
プログラミングコンテスト課題部門 函館高専陣取りゲーム全国一
- 2022年10月29日 函館新聞  
函高専32年ぶり最優秀賞オンラインゲーム課題部門で受賞「場の共有」評価
- 2022年11月9日 高専転職ガイド [Web サイト]  
高専プロコン観戦記 2022年第32回群馬大会本選  
<https://kosen-guide.jp/topics/procon2022.html>
- 2022年11月16日 日経産業新聞「高専生向け特別版」  
3年ぶりのリアルな大会となり大いに盛り上がった高専プロコン
- 2022年12月11日 Yahoo! JAPAN Tech Blog [Web サイト]  
高専生のものづくりに注ぐ熱い情熱を届けたい!ヤフーも「高専プロコン」をサポートしている件  
<https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2022121130379874/>
- ※ YouTube 高専プロコン #procon33  
<https://www.youtube.com/hashtag/procon33>
- ※ Twitter  
[https://twitter.com/hashtag/procon33?src=hashtag\\_click](https://twitter.com/hashtag/procon33?src=hashtag_click)

## 【決 議 事 項】

### 2 0 2 3 年事業計画（第 1 6 期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

# 2023年事業計画書（第16期）

2023年1月1日から 2023年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報サービス産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、産業界と教育界の連携を図るためのセミナーの開催等を計画します。また、広報事業としてプロコンコミックの制作も継続して行います。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日程	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月	東京都	40名	応募学生・教 員ならびに審 査委員700人	34,410
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月	福井県 越前市	50名	全国高専から のコンテスト 出場学生・ 教員及び産業 界からの参加 者一般市民 約1,000名	
国際コンテス ト運営事業	国際プロコン大会開催	10月	福井県 越前市	5名	国外からの参 加学生・教員 30名	7,000
産学連携事業	産学連携シンポジウム	5月	全国 (ネット 配信)	10名	高専教職員な ど約500名	130
広報事業	プロコンコミックの制作					500
合 計						42,040

# 第34回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト開催概要（案） 「みせよっさ∞の可能性」

1. 主催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会（国公立高専の連合組織）
2. 共催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）
3. 後援（予定）  
文部科学省，総務省，経済産業省，警察庁，デジタル庁，福井県，福井県教育委員会，鯖江市，越前市，鯖江市教育委員会，越前市教育委員会，福井県商工会議所連合会，一般社団法人ソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，一般社団法人教育システム情報学会，国立研究開発法人情報通信研究機構，一般社団法人デジタル地方創生推進機構，福井県立産業技術センター，福井中小企業家同友会，NPO法人ITジュニア育成交流協会，NHK，福井テレビ，福井新聞社，朝日新聞社，毎日新聞社，日刊工業新聞社，福井工業高等専門学校後援会，福井工業高等専門学校同窓会(進和会)
4. 主管校 福井工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生（専攻科生を含む）
6. 協賛 特別協賛・一般協賛 40社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競います  
(1) 課題部門 「オンラインで生み出す新しい楽しみ」をテーマにした作品  
(2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品  
(3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間： 2023年5月15日（月）～22日（月）
9. 予選（書類による審査）  
日時 2023年6月24日（土）  
会場 東京都立産業技術高専品川キャンパス（東京都品川区東大井 1-10-40）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査，競技は対抗戦）  
日時 2023年10月14日（土）～10月15日（日）  
会場 サンドーム福井(福井県越前市瓜生町 5-1-1)
11. 表彰  
(1) 課題・自由部門（各々）  
最優秀賞 優秀賞 特別賞  
(2) 競技部門  
優勝 準優勝 第三位 特別賞  
(3) 最優秀賞および優勝チームには，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞並びに電子情報通信学会若手奨励賞が授与されます  
(4) 協賛企業から選ばれたチームには，企業賞が授与されます
12. 備考  
本大会と同時に第15回NAPROCK国際プログラミングコンテストを実施  
高専プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>  
NAPROCK公式サイト：<http://www.naprock.jp/>  
高専プロコンTwitter公式アカウント：[@KosenProcon](https://twitter.com/KosenProcon)  
高専プロコン公式Facebookページ：<https://www.facebook.com/KosenProcon/>

# 第 15 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 大会概要（案）

(The 15th NAPROCK International Programming Contest, Fukui, Japan)

- 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
- 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
- 後援・協賛 全国高専プログラミングコンテストに準じます
- 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生  
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)  
海外：大学生 (NAPROCK, 各高専等が招聘する者, 選抜を行なう場合があります)
- 募集部門 (高専プロコンに準じる)  
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競います  
(1) 課題部門 「オンラインで生み出す新しい楽しみ」をテーマにした作品  
(2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品  
(3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
- 募集期間 2023 年 5 月 8 日 (月) ~ 2023 年 5 月 29 日 (月)
- 審査方法・日程  
方 法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査, 競技部門は対抗戦  
(新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み, オンライン開催とする可能性があります)  
日 時：2023 年 10 月 14 日 (土) ~ 10 月 15 日 (日)  
会 場：サンドーム福井 (福井県越前市瓜生町 5-1-1 )  
審査委員：全国高専プログラミングコンテストに準じます
- 表彰

(1) 課題・自由部門 (各々)	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際特別賞 Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝 Champion	国際準優勝 First-Runner-up Prize	国際特別賞 Special Prize
- 応募要項

<a href="http://www.naprock.jp/">http://www.naprock.jp/</a>	(NAPROCK 公式サイト)
<a href="https://www.facebook.com/naprock2008">https://www.facebook.com/naprock2008</a>	(NAPROCK Facebook ページ)
<a href="http://www.procon.gr.jp/">http://www.procon.gr.jp/</a>	(プロコン公式サイト)
- その他
  - 第 34 回全国高専プログラミングコンテストと同時開催とします
  - 高専プロコン委員会および主管校が運営に協力します

# 産学連携事業概要（案）

## 1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行います。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、学校においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学の交流の場を設けます。インターネット中継を使った産学連携シンポジウムを行います。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会
- (2) 地域の高専地区の近くで NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専に対して、ICTに関する実践講座（あるいはサポート）の実施。

このため産業界の方、学識経験者、実務経験者、高専OB、高専教員OBの方の協力を得ながら、広く高専学生、高専の先生、関係者の方等に有意な実践知識を持ってもらうことを狙います。

## 2. 事業内容

### ・産学連携シンポジウム実施

日 程：2023年5月（予定）

内 容：YouTube Liveにより全国の高専生にライブ配信（アーカイブ配信もあり）

# 広報活動事業概要（案）

## 1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知します。

## 2. 事業の概要

### 2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行います。

#### (1) プロコン事業・国際プロコン事業

- プロコン募集要項の公開・周知
- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理

#### (2) 高専連携シンポジウム

- Twitter による意見・質問の集約
- アンケートの集計

#### (3) GO!GO!プロコンガールの制作

高専プロコンを題材に作品を作成します。

### 2-2 その他

- コンテンツの充実、SNS の活用を進めます。

